

なかとんべつ 町議会だより

Volume

227

令和6年4月25日発行



第1回定例会議決結果の一覧	3
私たちの一般質問	4
議会住民懇談会・	
いきいきふるさと常任委員会報告	9
議決審議のあらまし	10
令和6年度予算の内容	12
予算審査特別委員会	14
議員だより	15
議員の活動実績・議会の動き・あしがき	16

4月9日 小学校入学式の様子



令和6年 第1回会 定例

令和6年第1回定例会が、3月1日から7日まで7日間の会期で開かれました。



町政執行方針を表明する
小林町長

招集日の3月1日には、諸般の報告、行政報告、専決処分、条例（一部改正含む）、令和5年度補正予算などを3月4日に渡り開催し、原案どおり承認及び可決し散会しました。

3月5日には、小林町長が令和6年度町政執行方針、相座教育長が令和6年度教育行政執行方針を表明、一般質問を通じて6名の議員が町長、教育長の所信を質（ただ）しました。



教育行政執行方針を表明する
相座教育長

本会議休会中の3月6日～7日に令和6年度各会計予算案を全議員で構成する「予算審査特別委員会」（長谷川克弘委員長）で審査。委員会審査を経て、再開された本会議で全8会計予算を原案どおり可決、全日程が終了し3月7日に閉会しました。

- ① 自転車用ヘルメット着用の努力義務化について
- ② 役場職員における人事評価制度の取り組みについて
- ③ 学校建設が今後の町財政運営に与える影響について
- ④ 4月からの長寿園町営化について
- ⑤ 中頓別学園の設立に向けては高騰を続ける費用面を含めたより現実的な説明を
- ⑥ 自然環境保全について
- ⑦ 既存公共施設の利便性について
- ⑧ 人口減少問題の解決のために
- ⑨ 組織の内部統制について
- ⑩ 学園構想の根本問題について

6議員が一般質問

（蓮尾議員）

（長谷川議員）

（宮崎議員）

（高橋議員）

（吉田議員）

（細谷議員）

第1回定例会で 決まりました



議決結果の一覧

- ※ ○ は原案可決
- 議案第1号 職員定数条例（一部改正）
 - 議案第2号 職員給与条例（一部改正）
 - 議案第3号 手数料徴収条例（一部改正）
 - 議案第4号 水道事業条例（一部改正）
 - 議案第5号 民間賃貸住宅建設促進助成条例（一部改正）
 - 議案第6号 山村交流施設の設置及び管理等に関する条例（一部改正）
 - 議案第7号 ピンネシリ温泉の設置及び管理等に関する条例（一部改正）
 - 議案第8号 商工業振興支援条例（一部改正）
 - 議案第9号 地域公共交通維持活性化基金条例
 - 議案第10号 障がい者等就労促進助成条例（一部改正）
 - 議案第11号 指定管理者の指定（中頓別町社会教育施設等）
 - 議案第12号 指定管理者の指定（中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園）
 - 議案第13号 指定管理者の指定（中頓別町山村交流施設）
 - 議案第14号 指定管理者の指定（中頓別町ピンネシリ温泉）
 - 議案第15号 指定管理者の指定（中頓別町農業体験交流施設）
 - 議案第16号 令和5年度一般会計補正予算
 - 議案第17号 令和5年度自動車学校事業特別会計補正予算
 - 議案第18号 令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算
 - 議案第19号 令和5年度国民健康保険病院事業会計補正予算
 - 議案第20号 令和5年度水道事業特別会計補正予算
 - 議案第21号 令和5年度下水道事業特別会計補正予算
 - 議案第22号 令和5年度介護保険事業特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算
 - 議案第23号 令和5年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算



議会を傍聴しましょう

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。

次の定例会は、6月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。

多くの町民のみなさまの傍聴をお待ち申しあげております。

ここが聞きたい、
知りたい

私たちの一般質問

第1回定例会は、町長が令和6年度における町政執行方針、教育長が令和6年度における教育行政執行方針をそれぞれ表明。

6議員が一般質問を行いました。

細谷久雄議員



質問

自転車用ヘルメット着用の努力義務化について

令和5年4月1日から改正道路交通法の施行に伴い、年齢を問わず自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されました。警視庁によりますと、自転車事故で死亡した人の約7割が頭部に致命傷を負ったとの報告があります。

また、ヘルメットの着用状況による致死率は、着用している場合と比較すると約2.3倍も高くなっているそうです。

そこで、町として今回の道路交通法改正の意義と自転車用ヘルメットの効果について、どのように考えているのか。

また、改正を受けどのような意識啓発を行っているのか。

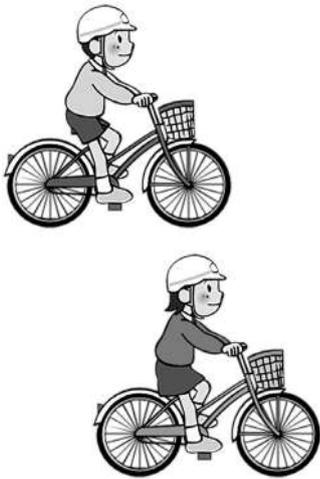
最後に、ヘルメットの着用率を向上させ町

民のいのちを守るために、購入費用の一部を補助する考えがないのか伺います。

答 弁 ○小林町長

改正道路交通法では、自転車に乗るすべての運転者、北海道の自転車条例においては、子どものヘルメット着用が努力義務となり、管内所轄警察署や振興局などの関係機関との交通会議の場においては、死亡事故を減少させるためヘルメット着用の啓発が推進されており、地域に向けては青空教室で児童生徒にヘルメット着用の呼びかけを行ってきています。

町では日頃より、警察、地域生活安全協会や交通指導員会の協力のもと、交通安全運動の啓発パトロールや小中学校での交通安全運動（青空教室）を実施するなど、地域一体となった交通安全運動を通年で取り組んでいますが、ヘルメット着用については事故の被害軽減が期待できることから、関係機関と連携して推進するとともに、購入に関する支援を含めて町民全体の着用率向上対策を検討していきます。



吉田智一議員



質問

役場職員における人事評価制度の取り組みについて

地方公共団体における人事評価制度が始まり当町においても人事評価の結果、分限処分により降給が実施され、1名の職員が納得できず退職されたと伺いました。

処分に至った職員は、何を基準としたどのような評価内容で最低評価となったのか。

また、処分に至るまでに管理者側として必要な措置をどのように行ってきたのか。

今回の処分は、これまでに行われてきた懲戒処分よりも厳しい処分内容であったと思いますが、結果的には当該職員の人生を大きく変えてしまうこととなり、職員の権利保護の観点からも、処分の決定にあたっては審査委員会において十分に協議が尽くされた結果なのか。

苦情対応の仕組みは整備され、全職員がその仕組みを十分に理解していたのか。

また、退職した職員の話では、離席が多かったことなどが評価結果に至る要因の一つと説明があったとも聞きましたが、例えば、喫煙する職員は勤務時間中に自由に喫煙室にて休息をとることが出来ますが、たばこを吸わない職員はトイレに行く以外に離席すると人事評価への影響や仕事をさぼっているように見られるのであれば、職員間に不公平感が生じますが、これを解消するために今後何か考えることはできないのかをお伺いします。

答 弁 ○小林町長

人事評価の結果について、評価者と被評価者の双方の納得が得られない場合には、意見申し出の仕組みが設けられており、評価を通知した際に改めて説明しています。

職員個人の評価内容については公表できませんが、評価結果の適用により昇給の区分変更と勤勉手当に乗じる成績率が適用されているもので、給与が下がるものではなく、評価結果に応じ昇給する号俸が変わるもので、分限処分に該当するものではありません。

勤務中の離席ですが、一日中机に向かい業務をし続けることは今の時代に沿う勤務体制ではないこと、また、人

事評価においては、評価者も被評価者も全職員が制度の内容等を十分に理解し、今後においても誰もが働きやすい職場環境を目指します。

高橋憲一議員



質 問

学校建設が、今後の町財政運営に与える影響について

現在、進められている学校建設にかかる予算及び長期にわたる多額の償還金が発生するわけですが、そのことが今後の町政に与える影響についてお伺いします。

第一に、第8期総合計画で、町内の温浴施設、道の駅及びピンネシリ温泉の再編成、防災関連の施設等が計画されたと思いますが、現段階でどのように考えているのか。

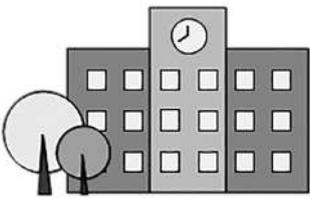
第二に、またこの結果、町民の様々な利用料、負担金等に、影響しないといえるのかどうか伺います。

答 弁 ○小林町長

中頓別学園整備にかかる事業費は、48億円程度となっております。国庫補助金を最大限活用し、起債の借入れを行います。その償還が後年度における財政負担として、交付税算入額を除いたとしても、単年度負担額が重くなっていくことが予想されます。基金の積み立てや寄付の呼びかけ等で、後年度の負担を少しでも軽減するよう努めます。その上で、入浴施設に関しては、公衆浴場「黄金湯」には、公衆浴場確保に関する補助金による支援のほか、施設修繕などの対応を行います。

ピンネシリ温泉につきましては、ボイラー更新等の対応で、施設の活用を継続します。温浴施設を併設した防災拠点の整備については、現時点では未定であります。

学校建設の如何にかかわらず、財政状況は厳しくなってきていますが、経常的支出を抑制しながら、町民の方々への負担増は想定していません。



宮崎泰宗議員



質 問

4月からの長寿園町営化について

長寿園は町内唯一の老人ホームとして昭和49年の設立から南宗谷福祉会によって運営されてきたが、近年の赤字経営の影響から、これ以上の継続は困難として、町は施設運営の移管を受け入れ、新年度4月からの町営としての施設運営に向けた取り組みが進められていることから、その進捗状況や今後の見通しについて伺う。

また、4月以降、長寿園の運営に法人は一切関与しないのか。今年度の長寿園の赤字額は1億円台に迫っており、これに対する町の補助金としては約8千万円となっているが、町の補助金の考え方として一定の限度額が示されていたと記憶している。法人経営の先行

きが見えているからといって、まさに町民の血税である町費を無尽蔵に使えるということにはならないと思うが、この点においては、どのような考え方や根拠によるものなのか。

今後は町の給与体系が適用されることなどから、経費はさらに増加するとの見方もあるが、法人に改善を求めたきた以上、町営になった途端さらに経営を悪化させるわけにはいかないとと思う。養護を介護保険の対象とする制度や、職員と入所者数を確保して収入を上げていくとする見通しは現実的なものと言えるのか。

今年度4月からの在宅サービスの直営化では、町営によるメリットとして掲げられていた営業日数の拡大は事実上実現していないなど、見通しが甘かったと言わざるを得ない部分もあると聞いている。デイサービスやヘルパー利用の状況についても伺う。

答 弁 ○小林町長

町としての運営に向けた取り組みを進めているところであるが、町営となる4月以降の長寿園の経営に南宗谷福祉会が関与することは想定していない。移管に向けた取り組みの進捗状況としては、長寿園の職員と面談を実施し意向を確認しているところであり、施設の設定に関する届出の手続きも進んでいる。

社会福祉法人の助成に関しては、最大でいくらというより、職員や入所者の不足によって生じた損失額を限度額とするもので、これに該当する赤字額が今年度も増えたことにより、結果、町の補助金としてもさらに増額となった形である。

町に移管された場合の収支について、特別養護老人ホームではある程度の改善を図っていけると考えているが、養護老人ホームでは、すでに特定施設入居者生活介護の指定を受け、収入は増えるものの収支としては大きな赤字が続く見込みである。ただ、町営化により介護報酬改定に見合う分を含めて職員の処遇改善が図られるとともに、施設が存続できる安心感から職員の確保はしやすくなるものと考えている。

在宅サービスの利用状況について、通所介護では、利用延べ人数が前年度を超えており、12月から利用者が大きく減ったこともあって土曜日の営業については休止状態となっているが、年間では5割近くの増加となる見込みである。一方、訪問介護では前年度より減少することになるが、在宅サービス全体の収支としては、わずかに改善される見込みである。

質 問

中頓別学園の設立に向けては、高騰を続ける費用面を含めた、より現実的な説明を

全町アンケートの回答状況などからも、物価や人件費など、様々な費用が高騰している中での学校部分以外の必要性、新たな公施設建設の在り方としても、衰退著しい中頓別町が推し進めるべきものなのか、まだ十分な理解は得られていない印象であるが、小学校部分の改修と増築分については、48億円を限度とする町の考えが示された。これだけでも当初の35億円というような見直しからは大幅な増額になるわけだが、これはいわゆる本体工事費であり、設計費等、その他の費用すべてを含めた総事業費としては一体いくらになるのか。大まかな内訳も含め、より明確になってきたであろう中頓別学園設立に係る経費の全容について改めて説明していただきたい。

また、この費用の町民負担については短期間に現世代だけで基金を積み立てることによって確保するという考えが示されており、これまでも施設整備と同様の対応がとられてきた経緯もあると思うが、これは今後長く利用されていく町内最大となる公施設の整備事業であり、金額も過去とは比べ物に

ならない、まさに桁違いの建設事業であることから、限定的な負担の見直しも必要と考える。この点も含め、町民理解の拡大につなげようとする今後の新たな取組など、何か考えておられることがあれば、お聞かせいただきたい。新年度においては、工事中の小学生も利用することから、およそ5千万円をかけて、中学校の改修が行われることになるが、それだけの費用をかけて、本体工事終了以降は活用しないということにもならないのではないか。その後の活用については、いかがお考えか。



答 弁 ○相座教育長

この施設整備は、地域の発展と町民の利便性向上、子どもたちの教育環境にとつて重要な事業であり、今後も町民の皆様を理解していただけるよう推進していきたい考えである。

工事終了後の中学校については、災害時の避難場所や、新しい施設の方では十分なスペースを確保できない書庫としての活用を考えている。施設を空

き家状態としない有効な活用についても、今後も皆さんから意見をいただき検討していきたい。

答 弁 ○小林町長

学校本体を含め、これまでとこれからの工事費用全体としては、約49億7千万円、設計費用として約3億8千万円、その他ワークショップや外部コンサルの委託費などで約8千万円、これ以外で備品購入などの費用も当然出てくることにはなるが、それほど高額なものにはならないと思われ、基本となる費用の合計から、総事業費としては、約54億円となる状況である。

起債の償還等、これに掛かる実質的な町費負担の財源確保に向けては、やはり将来的な財政負担の観点から、改めて、可能な範囲での短期的基金積み立てという形で対応していきたいと考えているところであるが、すべてを賄えるだけの財源は捻出できないものと思われるので、残る部分の将来的な負担の在り方も含め、今後も検討していく考えである。



長谷川 克弘 議員



質 問

自然環境保全について

町政執行方針で述べられている、環境「美しい自然を守り共生する町」について伺います。

エゾシカなど有害鳥獣対策により相当数の捕獲駆除が行われていると思うが、依然町内各所でエゾシカ・アライグマを目の当たりにするが、わが町における捕獲数に鑑み、新年度の対応について伺う。

また、ヒグマの目撃情報も年々増えていると認識しています。春駆除等に対するお考えも併せて伺う。

答 弁 ○小林町長

本町におけるエゾシカの捕獲頭数は、捕獲従事者及び関係機関のご協力によ

り、令和3年度650頭、令和4年度680頭、令和5年度中間実績では634頭（2月15日現在）となっております。年々捕獲頭数は増加しています。

令和6年度につきましては、年度当初の申請段階から捕獲許可申請頭数を700頭に引き上げ、特に融雪期から出産期となる6月頃までの捕獲を推進し、生息頭数の増加を抑制していきたいと考えています。

アライグマについては、関係機関等から情報をいただくとともに、防除研修会を開催し、アライグマの生態を理解された捕獲従事者を増やして、罠の貸し出し等により捕獲を推進していきたいと考えています。

ヒグマの春駆除につきましては、北海道が進める「春期管理捕獲支援事業」により本町としても実施していくこととしており、すでに関係機関や猟友会中頓別部会とも協議を進めているところです。

質 問

既存公共施設の利便性について

数ある公共施設の中で、未整備のトイレについて伺う。

高齢者の増加とともに下肢に障害とは言えないが不安を抱えている住民も多数いると認識しております。

そこで、考え得る一番の課題は、トイレの和式であるが故、利用しづらいと考えます。現在公共施設の中、未だに和式であり未整備のトイレが設置してある公共施設は、どれほどあるのか。また、新年度に向け利便性の向上のため改修等の整備についてのお考えを伺う。

答 弁 ○小林町長

町民が日常で利用する公共性のある施設は地区会館を含め43施設あり、そのうち13施設に洋式化されていないトイレがあります。高齢者や障害のある町民の方々にも安心して施設を利用していただけよう、トイレ改修も含め検討する必要があると認識しているところです。

新年度に向け寿公園では屋外トイレの一部を多目的トイレ化する工事を含め、設備を2力年で更新する計画としており、その他の施設についても計画的な改修を進めていく予定です。



蓮尾 純一 議員



質問

人口減少問題の解決のために

町長の3期に渡る政策が現在あまり実を結んでいないように感じますがいかがでしょうか。

現在の当町は人が住むための環境に恵まれてはおりません。今、抱えている諸問題を解決しなくてはこの町は縮小の一途を辿るものかと思われ、夕方以降等の保育環境の見直しをはじめ、仕事については時代に合わせた産業構造のアップデートの必要があり、住宅については定住を促すのであれば賃貸住宅建設への助成ではなく、新築やリフォームへの助成を強化し、持家比率を向上させることも必要かと思いますがいかがでしょうか。

答 弁 ○小林町長

子育て支援は、今までも拡充してきましたが、夕方以降の子供の保育等についても調査検討します。若い世代を中心とした子育て世代の仕事、住宅などの環境を整えるため町をあげて体制を早期に構築しなければならぬと考えています。

現在ある住宅助成については、思った効果が出ているとは言えない現状なので、これらを含め次年度見直しを検討します。

質問

組織の内部統制について

地方自治法150条に基づく内部統制の整備が形骸化してしまい、事務処理等のミスが頻発しているように感じます。総務省令に基づく内部統制に係る報告書等の提出の状況はどのような状態でしょうか。問題が起きてから対応している現状は良い状況ではないと感じます。

また、増加しているICTに関する内部統制整備はできているのかお伺いします。

答 弁 ○小林町長

地方自治法150条に関しては、都道府県、政令指定都市以外は努力義務

となっております。今後内部統制の策定整備を行う予定はありません。

しかし、内部統制の目的と現状を照らし合わせると、それぞれ準じた対応を行い職務に当たっているところですが、重大なミスが起きた際も、再発防止策を講じています。

ICTに関しては対応増加が想定されるので、町のセキュリティポリシーに則り対応していきます。内部統制を適正に行っていくために業務のリスクとコストを分析し政策課題、事務事業の精査、財政計画含め行政改革に取り組みが必要かと考えています。

質問

学園構想の根本問題について

学園構想について、町民に説明する中で多くの町民が疑問に感じていることですが、「図書館はなぜ必要なのか」「社会教育はなぜ必要なのか」と尋ねられます。構想の中にこれらが必要なる根拠の提示をお願いします。町民自身が必要だと本当に感じているとお考えでしたらその根拠の提示をお願いします。

現在、図書館の利用や類似のイベントは利用者や参加者の数は現状決して多いものではないですが、新たに施設

を建設することで変わるとお考えでしたらどのように増加させるのでしょうか。

答 弁 ○相座教育長

図書館は情報収集、教育支援、文化保存、コミュニティの中心地でありますが、現在の施設では十分に機能を果たせていない現状であることから、新施設を中心として強化を図ります。

社会教育や生涯学習は通常の勉強とは違う位置付けです。個人や社会の発展に不可欠な要素です。今現在、構想に多数の方が反対していることは把握していますが、町民にとって必要な施設になるよう、イベント企画を行うなどして必要な施設と感じていただければと思います。

質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

議会住民懇談会

2月26日



議会改革の一環として、議会住民懇談会を令和6年2月26日に開催しました。

初めての試みでありましたが、議会側は議会運営委員会 宮崎泰宗委員長が進行役となり、町民側は自治会連合会（東海林繁幸会長）と次のテーマを中心に3つの課題について懇談を行いました。

テーマ 当面する町の大きな課題、それに議会の対応方針は

- ①中頓別学園に関する関係施設の整備 ②長寿園の町立化どう変わるか ③自治会がかかえる課題

いきいきふるさと常任委員会報告

(2月5日)

いきいきふるさと常任委員会（長谷川克弘委員長）は、所管事務調査（2月5日）を実施し、第1回定例会（3月1日）に報告しました。

（調査事項）

- ①中頓別学園整備事業について
②老人ホーム長寿園の町移管について

（調査意見）

①中頓別学園整備事業にかかる建物の工事費についての限度額が48億円と示されたが、建物以外も含めた総事業費の内訳を含め示すべきである。

また、アンケート調査結果などから中頓別学園が必要となる根拠が乏しいので、教育委員会が主体性を持って積極的に関わるべきである。

②町の社会福祉全体を持続可能にするために早急に将来見通しを示すよう努力すると令和5年第4回定例会で答弁がされていることから、実行、実施できるシミュレーションを早急に示すことを望む。



議決審議のあらまし

第1回定例会では、新年度予算など35議案を審議しました。

令和6年度各会計予算は、予算審査特別委員会（長谷川克弘委員長）に付託して審査され、全会計原案どおり可決しました。

令和5年度各会計補正予算とその他の条例改正案等は本会議で審議され、すべて原案どおり可決しました。

3月1日・4日議決

議案第1号 職員定数条例（一部改正）

町長部局の職員定数を100名から40名増の140名に、老人ホームが町への移管となり、定数40名を追加するもの。

議案第2号 職員給与条例（一部改正）

老人ホーム長寿園の町営化に伴い、必要な職務を追加するもの。

議案第3号 町手数料徴収条例（一部改正）

（一部改正）

戸籍法の改正に伴い、戸籍謄本等の広域交付及び戸籍電子証明書識別符号の発行を改正するもの。

議案第4号 町水道事業条例（一部改正）

生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法令の整備に関する法律が制定されたことにより、現在所管する厚労省から国交省及び環境省へそれぞれ移管に伴い、改正するもの。

議案第5号 町民間賃貸住宅建設促進助成条例（一部改正）

昨今の建築費高騰等を鑑みて助成金の増額を行うもので、民間賃貸住宅を建設する個人又は法人に対して、費用の一部を助成するもの。

議案第6号 町山村交流施設の設置及び管理等に関する条例（一部改正）

施設の効率的かつ効果的な運営を図るため、宿泊料等を改正するもの。

議案第7号 町ペンネシリ温泉の設置及び管理等に関する条例（一部改正）

施設の効率的かつ効果的な運営を図るため、大人、小人の区分の明確化、宿泊料等を改正するもの。

議案第8号 町商工業振興支援条例（一部改正）

商工事業者の経営意欲の向上、地域の商工業の振興及び町民生活の充実に資するため、補助の上限額の交付後、一定期間の経過後に再度補助を受けられるよう改正及び副業・兼業を含む起業を目指すものを支援する制度を創設するもの。

議案第9号 町地域公共交通維持活性化基金条例

従前の路線バスに代わりデマンドバス及びスクールバスの運行が開始されたことに伴い、JR天北線の代替輸送確保のために設置された基金条例を廃止し、本条例に移行するもの。

議案第10号 町障がい者等就労促進助成条例（一部改正）

本年度でその効力を失うことから、障がい福祉計画に沿った地域推進事業の取り組みを継続するため改正するもの。

議案第11号 指定管理者の指定

「中頓別町社会教育施設等」の指定管理として、有限会社中頓別振興公社を指定。

指定期間 令和6年4月1日～

令和10年3月31日

議案第12号 指定管理者の指定

「中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園」の指定管理として、有限会社中頓別振興公社を指定。

指定期間 令和6年4月1日～

令和10年3月31日

議案第13号 指定管理者の指定

「中頓別町山村交流施設」の指定管理として、一般社団法人なかとんべつ観光まちづくりビューローを指定。

指定期間 令和6年4月1日～

令和10年3月31日

議案第14号 指定管理者の指定

「中頓別町ペンネシリ温泉」の指定管理として、一般社団法人なかとんべつ観光まちづくりビューローを指定。

指定期間 令和6年4月1日～

令和10年3月31日

議案第15号 指定管理者の指定

「中頓別町農業体験交流施設」の指定管理として、一般社団法人なかとんべつ観光まちづくりビューローを指定。

指定期間 令和6年4月1日～

令和10年3月31日

○ 議案第16号 令和5年度一般会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ2億545万円を減額し、予算の総額は48億6千319万円に。

決算見込に基づき追加、減額のほか、国保病院に対する繰入金9千811万円を追加して病院費総額を3億4千577万円とするもの。

○ 議案第17号 令和5年度自動車学校事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ41万円を追加し、予算の総額は6千957万円に。

決算見込に基づき追加、減額するもの。

○ 議案第18号 令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ13万円を追加し、予算の総額は2億9千289万円に。

決算見込に基づき追加、減額するもの。

○ 議案第19号 令和5年度国民健康保険病院事業会計補正予算

病院事業収益は、収入で入院・外来収益合わせて5千234万円を減額。一般会計繰入金として9千811万円を追加し、繰入金総額3億4

千577万円に。予算総額は5億9千697万円に。支出は、決算見込に基づき追加、減額するもの。

○ 議案第20号 令和5年度水道事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ4千613万円を減額し、予算の総額は4億2千321万円に。

決算見込に基づき追加、減額するもの。

○ 議案第21号 令和5年度下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ752万円を減額し、予算の総額は1億4千525万円に。

決算見込に基づき追加、減額するもの。

○ 議案第22号 令和5年度介護保険事業特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ462万円を減額し、予算の総額は5千876万円に。

決算見込に基づき追加、減額するもの。

○ 議案第23号 令和5年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ86万

円を減額し、予算の総額は3千452万円に。

決算見込に基づき減額するもの。

○ 議案第34号 町国民健康保険条例（一部改正）

全世代対応型持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、国民健康保険条例に関しての変更による改正をするもの。

○ 議案第35号 町介護保険条例（一部改正）

介護保険計画の策定期間に応じた年度に変更するとともに、介護保険制度の持続可能性を確保する観点から、今後の介護給付費の増加を見据え、一部改正を行うもの。

用語解説

「臨時会」(りんじかい)

定例会のほかに、必要な特定の事柄（事件）に限って、物事をよく検討するために随時招集される議会です。

ホームページで議事録などを公開しています

中頓別町のホームページ(<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>)で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。

町ホームページから **中頓別町について** ⇒ **中頓別町議会**

又は **行政情報** ⇒ **議会** へ進みご覧ください。

議会はみなさんの暮らし、福祉などの身近な問題を議論する大切な会議です。

議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、Tel6-2244（議会事務局）へ。

令和6年度 8会計予算成立

～総額66億2,895万円～



予算審査特別委員会（長谷川克弘委員長）

一般会計をはじめとする令和6年度8会計予算案は、全議員で構成する「予算審査特別委員会」（長谷川克弘委員長）に審査を付託。
特別委員会では、3月6日～7日に審査を行い、原案可決。
7日に再開された本会議で長谷川委員長から報告され、審議の結果、委員長報告のとおりすべて原案可決されました。

令和6年度予算編成内容

本年度の予算総額は、66億2,895万円で前年度比3億4,829万円（5.5%）の増額となりました。一般会計は、前年度比1,428万円（0.3%）の増額であります。

歳入では、大半を占める地方交付税は町債借入れの増加に伴う公債費の増などを踏まえ、前年度比2,515万円の増額としています。国庫支出金では、中頓別弥生線交付金事業補助金の減などにより7,904万円の減額、繰入金では、公共施設整備等基金繰入金の減などにより5,252万円の減額、諸収入では、養護老人ホーム長寿園が町へ移管することによる介護サービス利用料の計上などにより8,288万円の増額となっています。

歳出では、養護老人ホーム長寿園が町へ移管することによる職員の増など人件費が1億898万円増額、物件費では、総合行政システム委託料や中頓別学園整備事業に係る業務委託料などの計上により2億6,969万円増額となりました。補助費及び繰出金では、令和6年度から水道事業及び下水道事業が公営企業法を適用することによる支出科目の変更などにより、補助費が1億2,987万円の増額、繰出金が2億2,881万円の減額となりました。

■各会計予算の状況

（単位：万円）

会計別	年度別	令和6年度 予算額	平成5年度 予算額	比較	
				金額	率%
一般会計		45億3,240	45億1,812	1,428	0.3
自動車学校事業特別会計		5,943	6,599	▲656	▲9.9
国民健康保険事業特別会計		2億8,943	1億8,925	10,018	52.9
国民健康保険 病院事業会計	収益的収支	5億7,417	6億4,477	▲7,060	▲11.0
	資本的収支	2,678	1,103	1,575	142.7
水道事業 特別会計	収益的収支	1億5,786	4億2,345	▲1億3,052	▲30.8
	資本的収支	1億3,507			
下水道事業 特別会計	収益的収支	1億2,755	9,948	2億1,855	219.7
	資本的収支	1億9,048			
介護保険事業 特別会計	保険事業勘定	2億5,997	2億2,982	3,015	13.1
	介護サービス事業勘定	5,977	6,338	▲361	▲5.7
	施設介護サービス事業勘定	1億7,932		1億7,932	皆増
後期高齢者医療事業特別会計		3,672	3,537	135	3.8
合計		66億2,895	62億8,066	3億4,829	5.5

■一般会計

歳入

(単位：万円)

款	6年度	5年度	比較	増減%
町税	16,979	16,549	430	2.5
地方譲与税	7,441	7,117	324	4.4
地方交付税	221,703	216,189	5,514	2.5
使用料手数料	7,456	7,503	▲47	▲0.6
国庫支出金	49,717	57,621	▲7,904	▲15.9
道支出金	21,163	16,440	4,723	22.3
財産収入	1,764	1,377	387	21.9
繰入金	30,909	36,161	▲5,252	▲17.0
諸収入	14,539	6,252	8,287	57.0
町債	72,097	79,200	▲7,103	▲9.9
その他	9,472	7,403	2,069	21.8
合計	453,240	451,812	1,428	0.3



歳出

(単位：万円)

款	6年度	5年度	比較	増減%
議会費	4,887	4,983	▲96	▲2.0
総務費	97,023	75,198	21,825	22.5
民生費	42,128	49,633	▲7,505	▲17.8
衛生費	49,103	44,966	4,137	8.4
労働費	546	6	540	98.9
農林水産業費	46,187	39,249	6,938	15.0
商工費	15,723	13,015	2,708	17.2
土木費	69,532	86,608	▲17,076	▲24.6
消防費	13,353	13,980	▲627	▲4.7
教育費	47,458	35,251	12,207	25.7
公債費	52,086	52,881	▲795	▲1.5
諸支出金	15,164	35,992	▲20,828	▲137.4
その他	50	50	0	0
合計	453,240	451,812	1,428	0.3



予算計上された主な臨時事業

(単位：万円)

科目・会計	臨時事業名	事業費	主な事業内容
総務費	コモンズ形成事業	5,390	地方創生推進事業（推進協議会運営、共助の仕組み構築など）
民生費	養護老人ホーム運営事業	6,347	養護老人ホーム運営
農林水産業費	草地整備型公共牧場整備事業	8,029	参加者負担金
商工費	ピンネシリ温泉運営事業	5,893	指定管理料、ボイラー更新工事
	なかとんべつ観光まちづくりビューロー運営事業	1,674	なかとんべつ観光まちづくりビューロー事業補助、地域おこし協力隊負担金
土木費	除排雪事業	12,697	除雪トラック購入、除排雪委託料
	中頓別弥生線交付金事業	13,000	一己内橋架換負担金
	秋田原野線交付金事業	8,000	実測調査設計委託、改良 360m
教育費	中頓別学園整備事業	12,100	学校建設工事監理業務委託、仮校舎詳細設計委託、用水路改変工事、仮校舎建設工事、学校建設工事

どういう方法が利用者の方に大きな負担を伴わない形でやれるのか考えた上で検討を進めていきたいと思っています。目途として、今後3年から5年ぐらいの間の中でやっていく必要を感じているところではあります。(小林町長)

問

総合支援給付事業は障がい者の方が社会に積極的に活動をしていただく、より有意義な生活をしていただくことに使っていたく予算と思いますが、その中で私が今述べたような視点でどのような効果が一定程度上げられているのか伺いたい。

併せて、障がい者の方が例えば、寿公園、温泉、浴場を使うことに対して、積極的に出ること支援する制度が希薄に感じるので、そのあたりも含めて伺いたい。(蓮尾委員)

答

障がい者総合支援給付事業にしましては、障がい者の日中活動や施設入所、グループホーム等のサービスの利用に係る費用分の負担と補装具等の給付と障がい者施設等への交通費の助成、難病患者等の交通費助成などを行っております。中身については生活介護、施設入所、共同生活援助、就労継続支援、計画相談支援と児童発達支援等を給付費として支払っております。(保健福祉課長)

■土木費

問

道路施設予防保全工事で今年度は中学校のところの排水を直すけれども、藤井の沢の会館のところ雨が降れば左側のほうから水がオーバーフローしてたまつてしま

まう。大雨が降ったら藤井から来る人が走れない状態です。建設課として今後どのような考え方を持っているのか伺います。(細谷委員)

答

その場所も私も重々承知していますけど、何年前には山から来て法面に縦排水をつけて道路側溝で川に流れていく構図になっていて、側溝整備をやりましたけど、どうしても山からの沢水で土砂類も一緒に流れて詰まることもあって、対応に苦慮しております。根本的には、沢から来る水の量が計算外に多くてのめ切れないのが実情でありますので、何か対応できないか今年度検討していきたいと思えます。藤井地区の皆さんにもご迷惑をかけていますので、できるだけ早く対応したいと思えます。(建設課長)

予算審査特別委員会

【審査意見】

① 説明員の口頭による説明については、新規事業及び重要と判断する継続事業等を重点的に説明し、少額の予算や内容的にも変化の少ない事業に関する説明については簡潔にまとめるよう求める。

② 今後の中頓別学園整備事業等、事務事業の経費増大を鑑み、町営化される介護施設等の健全経営を含め、事業の集中と精査を望むものである。
③ コモンズ形成事業のコミュニティ施設改修工事について、コモンズの理念に基づき予算の抑制を求める。

議員だより ～私の思い～

このコーナーは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて、思いを綴るものです。

『防災について思うこと』

今年の元旦から能登半島では震度7を観測する大規模な地震が起き、新年を祝うどころか避難生活とは、言葉にできないいたたまれなさを感ぜずにはいられません。未だに1万人近い方が避難生活を送られています。

東北大地震から13年が経ち復興半ばにしてまた大災害。国土強靱化を唱えてはいるが、災害の頻度には到底追いつきません。常に天変地異と隣り合わせのような状態なのかもしれません。平時から備えることの重要性を再認識し、災害の時どのように行動し、自分の身をどう守るかという事を想定しておく機会ではないかと思えます。

わが町の良いところは、台風被害も少なく地震による揺れもほぼ感じず、洪水による浸水被害も未だ経験したことがない災害を知らない町であり、これからもその状況が未来永劫続くことを願ってやみません。

しかしながら、いつ起きるか分からない災害に対して「昨日は大丈夫だったのに」ではあとのまつりです。備えあれば憂いなしのことわざ曰く備えておくに越したことはないと感じております。

(綴人 長谷川 克弘)



議会の動き

令和6年

1月

27日 第39回北緯45度しばれまつり

2月

1日 交通事故死ゼロ2000日達成記念町
民交通安全大会
5日 いきいきふるさと常任委員会
16日 議会運営委員会
17日 認定こども園生活発表会
19日 議会運営委員会
26日 議会住民懇談会

3月

1日 第1回定例会
4日 第1回定例会
5日 第1回定例会、予算審査特別委員会
6日 予算審査特別委員会
7日 予算審査特別委員会、第1回定例会
10日 中学校卒業式
22日 南宗谷消防組合議会(枝幸町)
南宗谷衛生施設組合議会(浜頓別町)
23日 大崎上島町合併20周年式典
小学校卒業式
24日 武部新宗谷管内・稚内市連合後援会合
同総会
26日 こども園卒園式

4月

1日 自治記念式、老人ホーム長寿園開所式、
こども園入園式
5日 議会広報編集特別委員会
8日 中学校入学式
9日 小学校入学式
12日 議会広報編集特別委員会
18日 宗谷管内町村議会議長会定期総会
(稚内市)

発行 中頓別町議会
編集 議会広報編集特別委員会
お問合せ 〒098-5595
北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6
tel (01634) 6-2244 (直通)
fax (01634) 6-1155

議会懇談会 のお知らせ

町民の皆さんから広く意見を聞くため、
議会懇談会を行っております。
自治会、団体、グループ等で、気軽にお申込みください。

お問い合わせは、議会事務局まで

議員の活動実績と一般質問回数

(令和5年4月～令和6年3月)

議員名	定例会・臨時会		各種委員会等		一般質問回数
	出席義務日数	出席日数	出席義務日数	出席日数	
蓮尾 純一	13	13	13	13	4
吉田 智一	13	13	13	13	2
高橋 憲一	13	13	15	14	4
長谷川 克弘	13	13	15	15	2
宮崎 泰宗	13	13	13	13	4
細谷 久雄	13	13	9	9	4
西浦 岩雄	13	13	19	19	1
星川 三喜男	13	13	13	11	-

- (注1) 議員名は議席番号順(7番目が副議長、末尾が議長)
(注2) 各種委員会等は、議会運営委員会、常任委員会、議会広報編集特別委員会、議会改革特別委員会、決算審査特別委員会、予算審査特別委員会等を指します。
(注3) 一般質問は、定例会(年4回)で行われます。
(注4) 一部事務組合議会議員(西浦副議長、細谷議員、吉田議員、蓮尾議員)の日数は含まれていません。

編集後記

3月に入り、温かい日差しにより雪解けが進み、今年は春が来るのが早いのかと思いましたが、一夜で冬に逆戻りや春分の日を過ぎてからの流水の接岸等とかなかなか暖かくならず、冬と春の綱引き状態でしたが、やと桜の話題も聞かれるようになり、入学・就職と新しい学校生活や新しい職場での生活が始まりました。

小学1年生は初めての学校生活に戸惑いながらも先生や上級生にいろいろなことを教えてもらいながらすぐにその環境になじんでいくことと思います。

コロナもまだまだ終息したわけではありませんが、「インフルエンザ」や「はしか」が流行し重症化になるリスクも大きいとの話も聞きますので、お出かけの場合は十分注意してください。

また、最近家の近くまで鹿が出てきています。雪解けとともに草を食べるために国道沿いに多くの鹿が出没する時期となりましたので、お出かけの場合は車の運転にも十分な注意が必要です。

3月定例議会も終了し、令和6年度の町の事業も始まりました。

今年度から、老人ホーム長寿園が町へと移管され、町の事業運営となります。

中頓別学園の整備に向けても、小学校が中学校に一時的に移転するための仮校舎の建設工事などの新しい事業が動き出します。

議会広報編集特別委員会(吉)

